

2022 年度事業報告

事業報告

1. 2022 年度優秀業績の表彰

2022 年度優秀業績については慎重に検討された結果、

高橋 聡 氏 (札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

「Evaluating a novel, highly sensitive, and quantitative reagent for detecting SARS-CoV-2 antigen」(Journal of Infection and Chemotherapy 2021 Vol.27, No.6 p800-807)

以上、1 件に二木賞が授与されることとなった。

広瀬 雄二郎 氏 (大阪大学大学院歯科研究科細菌学教室)

「*Streptococcus pyogenes* upregulates arginine catabolism to exert its pathogenesis on the skin surface」(Cell Reports 2021; Vol.34 108924)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

令和 4 年 4 月 22 日～4 月 23 日、WEB 配信において第 96 回学術講演会を前崎繁文会長のもとで開催した。

参加人数：2,298 人

会長講演 1 題、特別講演 1 題、招請講演 2 題、シンポジウム 11 題、専門医審議会シンポジウム 1 題、JaSA ジョイントシンポジウム 1 題、プライマリ・ケア連合学会合同シンポジウム 1 題、日本結核・非結核性抗酸菌症学会共同シンポジウム 1 題、ワークショップ 4 題、総括新型コロナ 4 題、Accepted paper セッション 1 題、男女共同参画推進委員会企画 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、臨床研究促進助成中間報告 1 題、レジオネラ症サーベイランス WG 報告 1 題、COVID-19 院内感染対策検討 WG 報告 1 題、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告 1 題
一般演題 292 題 (口演：167 題、ポスター：125 題)

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

第 96 巻 1 号より逐次刊行した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol. 28, No. 1 より逐次刊行した。

インパクトファクター 2021 年度：2.065

JIC Award 2022 (Vol. 28 p211-6)

Shigetoshi Sakabe, *et al.*

The clinical course of 239 cases of Japanese spotted fever in Ise Red Cross Hospital, 2006- 2019

JIC Reviewer of the Year 2022

伊東直哉 先生 (愛知県がんセンター感染症内科)

岩永直樹 先生 (長崎大学病院呼吸器内科)

2023 年 1 月 1 日より日本環境感染学会が加入した。

4. 地方会

・第 71 回東日本地方会学術集会は、令和 4 年 10 月 26 日～10 月 28 日の 3 日間、高橋聡会長のもとで第 69 回日本化学療法学会東日本支部総会 (横田伸一会長) と合同開催としておよび WEB 配信で行われた。

会長講演 1 題、招請講演 2 題、特別講演 2 題、教育講演 10 題、シンポジウム 9 題、ICD 講習会 1 題、男女共同参画推進委員会企画シンポジウム 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、日本環境感染学会合同シンポジウム 1 題、ICD 講習会 1 題、イブニングセミナー 10 題、モーニングセミナー 7 題、教育セミナー 10 題、スポンサーシンポジウム 1 題

一般演題 219 題 (感染症：132 題、化療：87 題)

参加人数 1,883 名

・第 65 回中日本地方会学術集会は中村教会長のもとで、第 92 回西日本地方会学術集会は迎寛会長のもとで令和 4 年 11 月 3 日～5 日の 3 日間、第 70 回日本化学療法学会西日本支部総会 (宮下修行会長) と合同開催で出島メッセ長崎および WEB 配信で開催された。

特別講演 3 題、会長講演 3 題、会長特別企画 1 題、教育講演 16 題、シンポジウム 21 題、ジョイントシンポジウム・合同シンポジウム 3 題、ワークショップ 1 題、パネルディスカッション 2 題、感染症入門講座 14 題、共催セミナー 21 題、新薬シンポジウム・スポンサーシンポジウム 5 題、男女共同参画推進委員会企画 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、ICD 講習会 1 題、検査・診断セミナー 1 題、ハンズオンセミナー 1 題、中日本地方学術奨励賞選考セッション 10 題、研修医セッション 41 題 (中日本：16 題、西日本：11 題、化療：14 題)、学生セッション 18 題 (中日本：8 題、西日本：4 題、化療：6 題)

一般演題：185 題 (中日本：43 題、西日本：102 題、化療：40 題)

参加人数 2,241 名

5. 感染症専門医審議会

- 1) 感染症専門医試験合格者 96名 (敬称略)
- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相澤 悠太 | 赤池 公孝 | 赤澤 奈々 | 赤田憲太郎 | 赤羽 順平 | 浅野裕一朗 | 池亀 和博 | 石井 寛 |
| 石原 徹 | 糸賀 正道 | 稲田 誠 | 井上 暢子 | 枝川 峻二 | 大手 裕之 | 岡崎 彰仁 | 小笠原 隆 |
| 小川 英佑 | 奥田 菜緒 | 屋宮 清仁 | 温 麟太郎 | 笠松 亜由 | 梶田 明裕 | 柏木 克仁 | 門田 直樹 |
| 北島 平太 | 北野 泰斗 | 木戸口千晶 | 木村 浩 | 栗田 崇史 | 栗原 維吹 | 國東 博之 | 児玉 達哉 |
| 児玉 祐一 | 後藤 昭彦 | 小林 竜也 | 小松 雅宙 | 坂本 透 | 酒匂 崇史 | 佐々木裕明 | 笹澤 裕樹 |
| 佐野 寛仁 | 佐野 正浩 | 島 さほ | 島田 翔 | 十菱 大介 | 城 幸督 | 鄭 瑞雄 | 白井 剛 |
| 進藤有一郎 | 鈴木 康仁 | 高橋 秀徳 | 多久 佳祐 | 武井健太郎 | 竹内 優都 | 武田 和明 | 蛸井 浩行 |
| 谷口亜裕子 | 長命 友梨 | 津崎 光司 | 永田 由佳 | 永野 啓 | 西村 知子 | 野坂 生郷 | 長谷川耕平 |
| 長谷川 誠 | 長谷川 諒 | 濱口 杉大 | 林 幸司 | 藤田 浩二 | 藤原 翔 | 前田 直則 | 榎 陽平 |
| 丸毛 淳史 | 三木 瑞香 | 三雲 大功 | 南 順也 | 三宅 淳 | 宮本 恭兵 | 村中絵美里 | 森本 将矢 |
| 矢幅 美鈴 | 山内 悠子 | 山口 慎 | 山崎 啓 | 山手 亮佑 | 山中 崇之 | 山本 洋平 | 吉川 裕喜 |
| 吉崎亜衣沙 | 吉永 則良 | 林 阿英 | 若林 宏樹 | 脇本 優司 | 早稲田優子 | 綿谷奈々瀬 | 渡辺 珠美 |

2) 更新者 257名 (令和5年1月1日現在専門医数 1,771名)

3) 指導医 66名

4) 感染症専門医認定研修施設 319施設 (ホームページ参照)

5) 新専門医制度への移行について

- ・基本領域を内科・小児科のみとした整備基準(案)を機構へ再提出した(ホームページ参照)。

6. インフルエンザ委員会

- 1) 提言「一般社団法人日本感染症学会提言 2022-2023年シーズンのインフルエンザ対策について(医療機関の方々へ)」および「一般社団法人日本感染症学会提言 2022-2023年シーズンのインフルエンザ対策について(一般の方々へ)」を2022年7月24日にHPにて公開した。

7. 臨床研究促進委員会

- 1) 第6回日本感染症学会臨床研究促進助成(2023年度)
受賞者: 川筋 仁史氏(富山大学学術研究部医学系感染症学講座)
研究課題: 我が国の腸内環境における薬剤耐性と定着リスクの解明 ~新たな保菌前感染対策への展開~
- 2) シンポジウム開催
第96回日本感染症学会学術講演会
シンポジウム: あなたの日常診療を科学にしよう
Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -
- 3) Institut Merieux Young Investigator Awards 2023(若手研究者賞)
受賞者: 田頭 保彰氏(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野)
- 4) レジオネラ症診断における尿中抗原検査と臨床的特徴に関する全国サーベイランス研究事業については、症例収集している。
- 5) COVID-19重症化因子探索事業について、目標症例数に達し、解析を行っている。

8. 学際化国際化委員会

- 1) 学際化
・JaSAとして敗血症セミナーを3回(2022年5月15日、9月3日、12月11日)開催
・第31回日本医学会総会で掲示する学会ポスターを作製した。
- 2) 国際化
・第96回日本感染症学会学術講演会
招請講演1(IDSA)、招請講演2(ESCMID)
・The Sasakawa Emerging Experts Delegation(SEED)と日本の新型コロナウイルスへの対応について意見交換を行った。

9. ワクチン委員会

- 1) 「COVID-19ワクチンに関する提言」について2022年7月5日に第5版(8月30日、10月4日に一部修正)、1月23日に第6版をHPに公開した。

10. 気道感染症抗菌薬適正使用委員会

- 1) 気道感染症の抗菌薬適正使用に関する提言(改訂版)を発行した。

11. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連

- 1) HP公開資料(*は他団体合同・協力)
- ・COVID-19に対する薬物治療の考え方 第14版(2022年8月30日)
 - ・COVID-19に対する薬物治療の考え方 第14.1版(2022年9月7日)
 - ・COVID-19に対する薬物治療の考え方 第14.2版(2022年9月30日)
 - ・COVID-19に対する薬物治療の考え方 第15版(2022年11月22日)
 - ・COVID-19に対する薬物治療の考え方 第15.1版(2023年2月14日)
 - ・新型コロナウイルス感染症流行下における熱中症対応の手引き(第2版)*
 - ・この冬のCOVID-19とインフルエンザ同時流行の際の注意点(2022年10月20日)
 - ・経口抗ウイルス薬(パキロビッド®パック)の処方に関して

- ・ Significant Scientific Evidences about COVID-19 (古川俊治参議院議員) (最終更新 2023 年 1 月 17 日)
 - ・ 2022 年香港でのオミクロン株 BA.2 の流行-3 (訂正版)
 - ・ 2022 年香港でのオミクロン株 BA.2 の流行-4
 - ・ 中国本土のオミクロン変異株流行と、マカオの BA.5 流行 (2022 年 7 月)
 - ・ 台湾の COVID-19 死亡者 8,446 例のデータから—成人死亡者の 1/3 はワクチン 3 回以上接種済
 - ・ 中国本土 2022 年 12 月下旬の COVID-19 感染状況について (2022 年 12 月)
 - ・ 2022 年 12 月～2023 年 1 月中国の COVID-19 感染状況についての公式発表 (2023 年 1 月)
 - ・ 全国新型コロナウイルス感染の流行状況 (2023 年 1 月 25 日中国疾病予防管理センター(CDC))
 - ・ 2023 年 2 月第 2 週中国の COVID-19 感染状況と新しい治療薬
 - ・ 2023 年 2 月第 3 週 中国の COVID-19 感染状況と民間会社の抗体測定
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 1 日 (中国疾病予防管理センター)
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 8 日 (中国疾病予防管理センター)
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 15 日 (中国疾病予防管理センター)
 - ・ 全国 COVID-19 流行状況 2023 年 2 月 18 日 (中国疾病予防管理センター)
- 3) 「限りある医療資源を有効活用するための医療機関受診及び救急車利用に関する 4 学会声明」 (日本救急医学会, 日本プライマリ・ケア連合学会, 日本臨床救急医学会と合同) を発表した (2022.8.2)。
 - 4) 「新型コロナウイルス感染症における喫緊の課題と解決策に関する提言」 (日本化学療法学会と合同) を発表した (2022.9.2)。
 - 5) 行政から出される通達「自治体・医療機関向けの情報一覧 (事務連絡等) (新型コロナウイルス感染症)」の中で、会員にとって重要な情報と思われるものを会員へメール配信した。
 - 6) COVID-19 が感染症診療に及ぼした影響に関する調査を行った。

他学会合同事業

- 1) Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of *Clostridioides (Clostridium) difficile* infection を JIC に掲載した日本化学療法学会合同)。
- 2) 「*Clostridioides difficile* 感染症診療ガイドライン 2022」を発行した (日本化学療法学会合同)。
- 3) 9 月 4 日に四学会合同事業セミナー「いま問題の感染症に挑む」を WEB 配信にて開催した (参加人数: 900 名)
- 4) 外来抗菌薬適正使用調査委員会のアンケート調査を行った (日本化学療法学会合同)。
- 5) 抗菌薬の安定供給に向けた提言を厚生労働省に提出した (日本化学療法学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会、日本小児感染症学会合同)。
- 6) 7 学会合同感染症治療・創薬促進検討委員会提言「パンデミック・サイレントパンデミックに対する治療薬・ワクチン・検査法の研究開発を継続できる制度の必要性」を厚生労働大臣、経済産業大臣、財務大臣に提出した (日本化学療法学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会、日本細菌学会、日本薬学会、日本獣医学会と合同)

12. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会
呼吸器感染症、手術部位感染。

13. ICD 制度協議会
新規認定者 409 名 有資格者数 3,401 名 (当学会推薦)

14. FUSEGU2020
 - 1) 2022 年 4 月 10 日にオンライン市民公開講座「正しく知ろう！新型コロナウイルスとワクチン」を開催した。
 - 2) 2022 年 12 月 21 日に市民公開セミナー「親子で考える感染症対策 ～ウィズコロナでの新しい生活様式について～」を開催した。

※上記事業報告については、HP に掲載の議事録参照。

庶務報告

1. 会員数 正会員: 10,745 名 賛助会員: 19 件 令和 5 年 2 月 28 日現在
除名については該当者無し
2. 第 96 回日本感染症学会総会は令和 4 年 4 月 22 日、WEB 配信にて行った。
3. 令和 4 年度評議員会は令和 4 年 4 月 22 日、WEB 配信にて行った。
4. 理事会は 4 回行った。必要に応じて都度メール審議を行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会 1 回会議を行った。
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
6. 学会賞選考委員会は 1 回行った。
7. 専門医関連委員会は 7 回 WEB 会議を行った。
8. 学際化・国際化委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
9. 男女共同参画推進委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
10. インフルエンザ委員会は 3 回 WEB 会議を行った。
11. COVID-19 臨床研究 ad hoc 委員会関連: 15 回、レジオネラ検討委員会関連: 9 回 WEB 会議を行った。
12. 感染症遺伝子検査委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
13. 気道感染症抗菌薬適正使用委員会は 4 回 WEB 会議にて行った。